

研究紀要

第25号

平成20年3月

目次

論説

- John Cranko 作品『じゃじゃ馬馴らし』に見る喜劇的身体・・・秋田有希湖 1
 会計制度における実質優先性の位置づけ・・・・・・・・中山重穂 9
 ミヒャエル・エンデ『モモ』のなかの〈遊び〉
 —その発展と変容—・・・・・・・・堀内美江 21

研究ノート

- 身体表現におけるイメージの具現化についての一考察
 —短大生を対象に—・・・・・・・・秋田有希湖 33
 卒業式における学内連携について
 —短期大学部と大学の合同演奏の試み—・・・・・・・・井中あけみ 43
 障害と共存するための地域教育（環境へのアプローチ）と福祉実践教育
 —福祉情報展5年間のまとめ—・・・・・・・・大林博美 55
 豊川下流域の感潮域貝類・・・・・・・・松岡敬二・寺本和子・鳥居和孝・近藤貴夫 63

資料

- 計算の工夫（脳トレーニング）・・・・・・・・千賀博巳 67

解釈

- J. S. バッハ作曲「三声シンフォニア」の楽曲分析と演奏解釈
 —第7番ホ短調 BWV 793—・・・・・・・・藤本逸子 77

BULLETIN of TOYOHASHI SOZO JUNIOR COLLEGE

No.25

March 2008

CONTENTS

Articles

- Yukiko AKITA:** The comedy characteristics of body in the works
of John Cranko (1927-1973) 1
- Shigeho NAKAYAMA:** The doctrine of substance over form in accounting standards
..... 9
- Mie HORIUCHI:** The "play" in *MOMO* by Michael Ende
—about different kinds of performing arts and metaphors used— 21

Brief Notes

- Yukiko AKITA:** A study about the embodiment of the image in body expression
—in the case of junior college students— 33
- Akemi INAKA:** A campus cooperation in a graduation ceremony
—A joint rendering of a junior college and a university— 43
- Hiromi OBAYASHI:** Area education (approach to the environment) and welfare
practice education to coexist with an obstacle
—Summary of welfare information exhibition five years— 55
- Keiji MATSUOKA, Kazuko TERAMOTO, Kazutaka TORII, Takao KONDO:**
Mollusks of the Tidal Area of the Toyogawa River 63

Materials

- Hiroshi SENGA:** The Method of Calculation "The Brain Training" 67

Interpretation

- Itsuko FUJIMOTO:** An Analysis and Interpretation of J. S. Bach's
"Die Dreistimmige Sinfonien" —Sinfonia 7 E moll BWV793 — 77

編集規定

1. 研究紀要編集委員会

- 1-1. 本誌は、豊橋創造大学短期大学部の機関誌として、年1回3月に発行する。
- 1-2. 本誌の編集のため、豊橋創造大学短期大学部内に研究紀要編集委員会を置く。
- 1-3. 研究紀要編集委員会は、委員長と各科から選出された編集委員から構成される。
- 1-4. 本誌の編集は、豊橋創造大学短期大学部内にある研究紀要編集委員会の責任のもとに行われ、編集委員会の議決を経るものとする。
- 1-5. 論文は、編集委員会の審査を経て掲載される。
- 1-6. 論文の原稿は、所定の執筆要領に準拠したものに限る。
- 1-7. 掲載の場合、編集技術上原稿の一部に添削を加えることができる。

2. 内容

論文は、学術論文としてふさわしいものとし、未公刊のものに限る。

3. 執筆資格

執筆者は、豊橋創造大学短期大学部・豊橋創造大学の専任教員・非常勤教員および研究紀要編集委員会が執筆を認めた者に限る。

4. 執筆要領

- 4-1. 原稿は、ワープロ等で作成した原稿を原則とし、提出時にはフロッピーディスクと印字した原稿を提出する。
- 4-2. 一論文の長さは、原則として16000文字程度(10ページ程度)とする。図表等は掲載の大きさに従って所定のページ数に参入する。
- 4-3. 記述は、簡潔、明確にし、日本語の場合は現代かなづかい、常用漢字を使用する。
- 4-4. 原稿は、かい書で左横書きとし、第一枚目には題目(副題および欧文タイトルも含む)、氏名(ふりがなと欧文による表記を付する)を明記し、本文は第2枚目から書きはじめる。
- 4-5. 脚注は、本文内容の補足説明にあて、通し番号を付ける。
- 4-6. 引用(及び参考)文献の表示は、次のとおりとする。
 - 4-6-1. 雑誌の場合、著者名・「題目」・雑誌名・巻号数・論文所在ページ・発行年の順とする。特に雑誌名は省略した表記をしないように注意する。
 - 4-6-2. 単行本の場合、著者名・『書名』・発行所・発行年の順とし、翻訳の場合は、原語によるもののほか、末尾に(訳者名・書名・発行所・発行年)を付する。
- 4-7. 表図は表1、図1、のように記し、通し番号とする。
- 4-8. 論文の区分は、論説(Article)、研究ノート(Note)、資料(Materials)、翻訳(Translation)、その他とする。
- 4-9. 原稿は、豊橋創造大学短期大学部研究紀要編集委員会に提出する。

5. 論文の体裁

発行時の体裁は、本文2段組、脚注1段組を原則とする。これ以外の体裁をとる場合はその旨を原稿表紙に明記する。

6. 校正

校正は執筆者が行なう。必要な場合は研究紀要編集委員会が行う。

7. 著作権

- 7-1. 本誌に掲載された論文の著作権は、執筆者本人と豊橋創造大学に帰属する。
- 7-2. 掲載論文は冊子による出版のほか電子的に蓄積し、豊橋創造大学附属図書館が行う情報提供サービスにより公開する。

8. その他

- 8-1. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
- 8-2. 執筆者に対しては、抜刷20部および本誌1部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
- 8-3. 本誌に掲載された論文を無断で複製及び転載することを禁ずる。

9. 改訂履歴

- 9-1. この規定は、平成14年発行豊橋創造大学短期大学部研究紀要第19号より適用する。
- 9-2. 履歴
 - 昭和59年発行豊橋短期大学研究紀要1号にて編集規定制定。
 - 平成9年発行豊橋創造大学短期大学部研究紀要第14号より、大学名称の変更に伴う規定改編。
 - 平成11年発行第17号より、7-2改訂、7-4削除。
 - 平成14年発行第19号より、7.著作権の規定を加える。

豊橋創造大学短期大学部研究紀要 第25号
Bulletin of Toyohashi Sozo Junior College 25

執筆者紹介（掲載順）

秋田有希湖	本学幼児教育・保育科専任講師
中山重穂	本学キャリアプランニング科准教授
堀内美江	本学非常勤講師
井中あけみ	本学幼児教育・保育科准教授
大林博美	本学専攻科福祉専攻准教授
松岡敬二	豊橋市自然史博物館
寺本和子	本学キャリアプランニング科教授
鳥居和孝	NPO法人朝倉川育水フォーラム
近藤貴夫	豊橋市上下水道局
千賀博巳	本学キャリアプランニング科教授
藤本逸子	本学幼児教育・保育科教授

2007年度 豊橋創造大学短期大学部研究紀要 第25号編集委員

委員長	幼児教育・保育科	佐野真一郎
副委員長	キャリアプランニング科	中山重穂
委員	キャリアプランニング科	伊藤晴康
委員	幼児教育・保育科	鈴木哲喜
委員	キャリアプランニング科	長谷川正志

2008年3月15日発行

発行所：	豊橋創造大学短期大学部 〒440-8512 愛知県豊橋市牛川町松下20-1 TEL (0532) 54-2111 FAX (0532) 55-0803
交換事務取扱：	豊橋創造大学図書・情報センター
印刷所：	豊橋合同印刷株式会社 TEL (0532) 32-5533
